

# 第38回 滋賀県社会福祉学会 開催案内

- 開催日 令和2年(2020年)2月21日(金)
- 会場 滋賀県立長寿社会福祉センター
- 定員 400名

## 地域共生社会に向けて 福祉従事者の役割を問う

～滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例  
制定から約1年を経て～

主催 滋賀県社会福祉学会

(事務局 滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会)

# 第38回滋賀県社会福祉学会 開催のご案内

## 1 参加対象

\* 社会福祉従事者 \* 医療・保健関係者 \* 教育関係者 \* SDGs に関心のある企業・団体関係者  
\* ボランティア \* 地域福祉活動実践者 \* 学生 \* 福祉に関心のある人

## 2 参加費 ※当日、受付でお支払いください

・一般参加・発表参加者	1,200円
・大学・短大・専門学校等学生	無料
・高校生以下	無料

## 3 参加方法

「一般参加申込書」に必要事項を記入のうえ、お申込みください。

募集案内は、県社協のホームページからもダウンロードできます。(http://www.shigashakyo.jp/)

## 4 参加申込締切 **令和2年2月14日(金)**

※但し、定員(400名)に満たない場合は、締切日を越えても受け付けますので、お問い合わせください。

## 5 日程

9:00～9:30	受付
9:30～9:40	開会式
9:50～12:30	自由研究発表(分科会)
12:30～13:20	昼食・休憩
13:20～15:35	学会シンポジウム
15:35～16:00	閉会式(奨励賞発表)

## 6 手話通訳等

・学会シンポジウムには、手話通訳者、要約筆記者を依頼します。  
・自由研究発表の時間帯に、手話通訳、要約筆記者等をご希望の場合は、申込み時にその旨をご記入ください。

## 自由研究発表 (9:50 ~ 12:30)

自由研究発表は、社会福祉関係者が日頃から行っている活動や他に先駆けて実施している取り組みを発表し、関係者みんなで検討しあう貴重な場です。

この場で発表・検討されたことがお互いの活動意欲と実践を高め、滋賀の社会福祉向上につながればと思います。

### 1) 発表時間

口頭発表 1題につき、発表15分 質疑応答7分 (計22分)

### 2) 自由研究発表(分科会)分野及び発表題数

分科会	分 野	発表数
分科会1	高齢者福祉①	6題
分科会2	高齢者福祉②	6題
分科会3	障害者福祉	6題
分科会4	子ども・社会福祉一般	6題
分科会5	地域福祉①	6題
分科会6	地域福祉②	5題
合 計		35題

### 3) 滋賀県社会福祉学会 奨励賞

大会における自由研究発表(口頭発表)のなかから「滋賀県社会福祉学会奨励賞」を選び、研究を奨励します。また、奨励賞に選ばれた発表は、研究誌『滋賀社会福祉研究第23号』(令和3年2月発行予定)に研究レポートを掲載し、広く公表します。

### 4) 個人情報の保護

発表のなかには、実際の事例等を取り上げたものがあります。事例は発表者が自らの研究成果を披露し、討議することで、参加者と共に研鑽を図ろうという意味で提供されるものです。発表者および参加者は、法令等に基づき、個人情報を保護してください。

### 《一般参加の皆さんへ》

- ・学会参加者は、この「プログラム」や当日配布する「学会要旨集」をご覧のうえ、各自が聞きたいと思う発表に自由に参加することができます。
- ・分科会間の移動は自由です。ただし、発表中の移動はご遠慮ください。

自由研究発表の演題一覧は、5～6ページに掲載しています。

## 地域共生社会に向けて福祉従事者の役割を問う ～滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例制定から約1年を経て～

平成31年3月22日に「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が制定されてから、約1年が経とうとしています。条例の前文には、“障害の有無にかかわらず、一人ひとりに社会を変革する命の輝きがあることを信じて、共感と連帯、そして協働による共生社会を実現することを決意する”とあります。そして、その定義では、日常生活や社会生活において受ける制限は、障害のみに起因するものではなく、社会的障壁と相対することによって生ずるものとする、「障害の社会モデル」の考え方が示されています。

つまりこの条例は、社会的に不利な立場にある人の可能性が尊重され、地域社会のつながりの中で暮らすことができる、滋賀ならではの共生社会を県民が力を合わせて創っていかうというものと言えます。

条例が制定されて約1年、福祉サービスの担い手である全ての福祉従事者には、「自覚者が責任者」という先人の言葉を胸に、条例の内容をしっかりと捉え、社会に発信し、先導していく力が求められています。シンポジウムでは、「滋賀の福祉人」のロールモデルである実践者の方たちに、これまでの実践を通して得たこと、大事にしてきた価値、そして、条例に盛り込まれた理念や施策を実効性のあるものとするための思いを語っていただき、地域共生社会に向けて、「滋賀の福祉人」として、私たち福祉従事者がどのような役割を果たしていくのかについて共に考える機会とします。

### シンポジスト

#### 角野 晃子 さん

社会福祉法人グロー オープンスペースれがーと 総合施設長  
デイサービスセンターらく 管理者

大学時代、障害者支援に興味を持ち、滋賀県甲賀郡（現：甲賀市・湖南市）で芽吹き始めた「レスパイトサービス」の事業所で実習。障害者やその家族を中心に置き、自分たちで「考え組み立て行動する」ことに魅了され、そのまま卒業と同時に就職。

平成13年、新法人設立に参画し利用者支援のプレーンとなる。

平成17年、老人デイサービス事業の新規立ち上げと同時に管理者となり、高齢者福祉に新しい風を吹かせようと試行錯誤を始め、現在も奮闘中。



#### 桐高 とよみ さん

特定非営利活動法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー 所長  
滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例・地域アドボケーター

平成9年～ 社会福祉法人甲南会入職

平成25年10月～ NPO法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー所長

令和元年10月～ 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例・地域アドボケーター



#### 尾崎 史 さん

認定特定非営利活動法人あさがお 理事

高知県出身。東京、長野を経て27年前から滋賀県在住。社会福祉士。

現在滋賀県社会福祉士会副会長、龍谷大学社会学部非常勤講師など。

医療ソーシャルワーカー・介護支援専門員として医療機関で18年間勤め、2005年2月から認定特定非営利活動法人あさがお所長として勤務。2018年10月退職し、現在は理事として関わっている。

同法人では、市民や専門職からの権利擁護に関する相談事業、普及啓発事業、法人後見事業などを行い、「誰もが身近に相談できる場づくり」とともに「地域での権利擁護支援のしくみづくり」を目指してきた。



## 丸山 英明 さん

滋賀県健康医療福祉部 健康福祉政策課 課長

滋賀県職員採用後、甲賀福祉事務所（現：甲賀健康福祉事務所）、県立精神保健総合センター（現：県立精神医療センター）、湖南市社会福祉課、県庁障害福祉課等で勤務。

平成 31 年 4 月から県庁健康福祉政策課長



## コーディネーター

## 北野 誠一 さん

特定非営利活動法人おおさか地域生活支援ネットワーク 理事長  
西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり研究研修所 所長  
滋賀県障害者施策推進協議会 会長



学歴	1983 年 3 月	大阪市立大学大学院生活科学研究科社会福祉学後期博士課程満期退学（社会学修士）
職歴	1986 年 4 月	桃山学院大学社会学部助教授就任
	1990 年～1991 年	サンフランシスコ州立大学社会福祉学科客員研究員
	1996 年～1997 年	カナダダグラスカレッジ客員研究員
	2005 年 4 月	東洋大学ライフデザイン学部教授就任
	2009 年 3 月	東洋大学ライフデザイン学部教授退職

### 主要研究業績

『自立生活の思想と展望』 [ミネルヴァ書房]		
	定藤丈弘・岡本栄一・北野誠一編著	1993-10
『講座 障害をもつ人の人権 3 福祉サービスと自立支援』 [有斐閣]		
	河野正輝・大熊由紀子・北野誠一編著	2000-5
『アメリカの発達障害者権利擁護法』 [明石書店]		
	定藤丈弘・北野誠一監修	2002-4
『精神保健福祉論』 [ミネルヴァ書房]		
	大熊・北野・佐藤・竹端・山本編著	2008-4
『障害者総合福祉サービス法の展望』 [ミネルヴァ書房]		
	茨木・大熊・尾上・北野・竹端編著	2009-7
『障害者本人中心の相談支援とサービス等利用計画ハンドブック』 [ミネルヴァ書房]		
	朝比奈ミカ・北野誠一・玉木幸則編著	2013-7
『ケアからエンパワーメントへ 一人を支援することは意思決定を支援すること』 [ミネルヴァ書房]		
	北野誠一著	2015-5

現在の社会活動	西宮市権利擁護支援センター 運営委員長
	滋賀県障害者施策推進協議会 委員長
	寝屋川市障害者施策推進協議会 委員長
	西宮市障害福祉推進計画推進会議 委員長
	泉大津市・伊賀市等地域自立支援協議会 委員長
	大阪市障害者差別解消支援地域協議会 委員長
	明石市障害者差別解消支援地域協議会 委員長 等

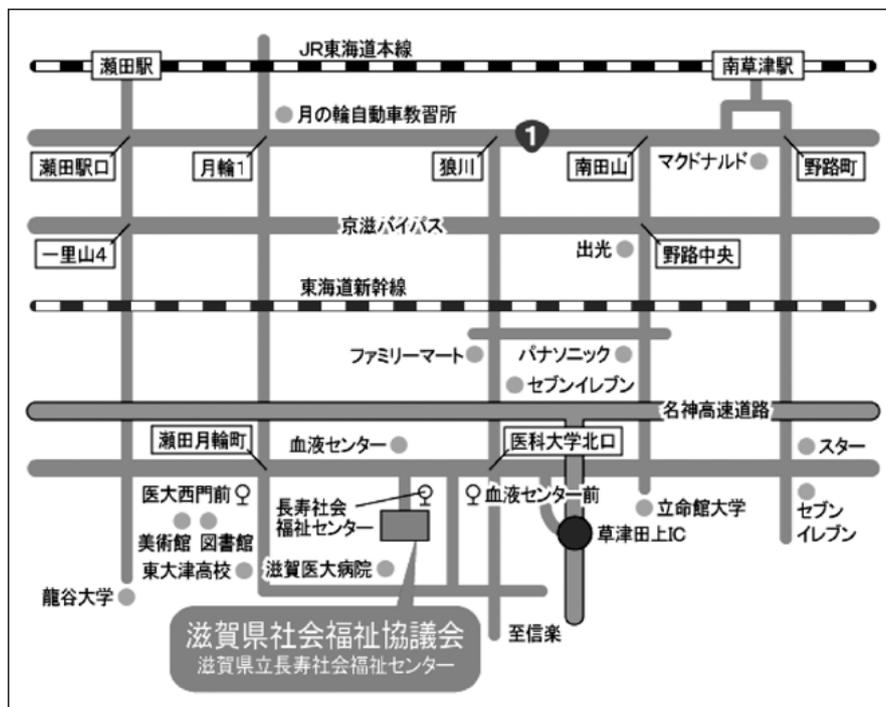
第38 回滋賀県社会福祉学会 自由研究発表プログラム一覽

第1分科会 高齢者福祉①	第2分科会 高齢者福祉②	第3分科会 障害者福祉	第4分科会 子ども・社会福祉一般	第5分科会 地域福祉①	第6分科会 地域福祉②
<p>「たかが〇〇されど〇〇」 ～壁面に詰め込んだ10 年の軌跡～</p> <p>社会福祉法人グロー 認知症デイサービス事業 所さくら番場 ○七里 裕美 ○牧野 淳子 ○小室 真美</p>	<p>家族との信頼関係を築く ためのはじめの一步 ～家族とのコミュニケー ションの重要性を再認識 する～</p> <p>社会福祉法人青祥会介護老人保健 施設坂田メディアセンター ○泉 和恵</p>	<p>医療的ケアの必要な療 養者が地域で暮らし続け るために(仮称)「在宅に おける医療的ケア検討 会」を各自治体に</p> <p>特定非営利活動法人 ALSしがネット ○福井 アサ子</p>	<p>コ・プロダクションの視点 から見る滋賀の協働福 祉実践の構造と特徴： 「ハローわくわく仕事体 験」事業を手掛かりに</p> <p>同志社大学大学院社会学研究科 ○史 邁</p>	<p>高齢者が支える地域づくりへ ～社会教育事業から総合事業への転換～</p> <p>特定非営利活動法人地域で創る 土曜日「夢の学習」 ○摺本 圭治 ○辻久 吉憲</p>	<p>コミュニケーションの機能 を生かした協同実践によ る福祉学習プログラムづ くり</p> <p>高島市社会福祉協議会 ○小笠原 滋</p>
<p>第1発表 9:55</p>	<p>第2発表 10:20</p>	<p>第3発表 10:45</p>	<p>第4発表 10:55</p>	<p>第5発表 11:10</p>	<p>第6発表 11:25</p>
<p>“やむを得ず”から“何と かなる”へ ～チームで取り組んだ 身体拘束解除への道～</p> <p>社会福祉法人グロー 特別養護老人ホームふくら ○奥長 由佳 ○中嶋 美樹</p>	<p>介護老人保健施設 長浜メディアケアセンター ○田中 久美子</p> <p>利用者家族のニーズに 対する柔軟なサービス提 供のあり方を探る</p>	<p>NPO法人CILだんない ○頼尊 恒信</p> <p>重症心身障害者に対す るノーリフティンゲアの 効果</p>	<p>滋賀県児童福祉入所施 設協議会調査研究部会 ○榊田 亮平</p> <p>『生と性の教育』への導 入としての余暇支援活動 ～昆虫飼育と植物栽培 を中心に～</p>	<p>社会福祉法人慈照会 カルナハウス ○野田 香也子</p> <p>他法人連携による今後 の地域貢献のあり方を考 える～子ども食堂「てん びんの里みなみ」の活動 実践を通して～</p>	<p>甲賀市共同募金会 甲賀市社会福祉協議会 ○大倉 崇弘</p> <p>夢の学習のできる高齢者 生活支援事業 ～地域実態に合わせた 多様な取り組み～</p>
<p>第3発表 10:45</p>	<p>米原市社会福祉協議会 デイサービスセンター 寄ろ家うかの ○西川 雄也 ○杉山 晃平</p>	<p>びわこ学園障害者支援 センター えかお ○近藤 真美</p>	<p>滋賀県立 近江学園 ○奥田 慎也</p>	<p>社会福祉法人グロー 養護老人ホームきぬがさ ○吉川 鍾子</p>	<p>特定非営利活動法人地域 で創る土曜日「夢の学習」 ○名倉 勇 ○池本 京子</p>

## 休憩 [11:10~11:15]

<p><b>第4発表</b> 11:15</p>	<p>生活機能向上支援事業 ～4年間の成果と課題～</p>	<p>住み慣れた街での普通の暮らしを支え、生き活きた時間を過ごせる場所を目指して～『しゃべり場まつもと』の効用～</p>	<p>車の運転がしたい！～脳性麻痺の方の免許所得を目指して～</p>	<p>高技能実習生を受け入れて～OJTを通じた指導のスキル向上と業務改善～</p>	<p>『ふるさと生活サポート応援隊』の取り組みと協働について～課題をかかえる家庭や子どもたちへの支援をおして～</p>	<p>ひきこもりがちな人の支援を通じて生まれた、地域住民との新しい出会い</p>
<p><b>第5発表</b> 11:40</p>	<p>滋賀県介護老人保健施設協会のリハビリテーション部会 ○横山 寛和</p>	<p>在宅サービスセンターまつもと ○佐藤 太亮</p>	<p>社会福祉法人グロー 滋賀県立むれやま荘 ○池本 雅尚</p>	<p>社会福祉法人ゆたか会 特別養護老人ホームさわの風 ○川越 健太郎</p>	<p>社会福祉法人栗東市社会福祉協議会 ○山中 忍恵 ○本間 由樹</p>	<p>社会福祉法人さわらび福祉会 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』 ○北出 篤嗣</p>
<p><b>第6発表</b> 12:05</p>	<p>一般社団法人ヘルスケア甲賀 看護小規模多機能型居宅介護 ○田中 収人 ○林 繁久</p>	<p>社会福祉法人近江さいらば会 ゆめとまの家おしどり ○山口 弘美</p>	<p>社会福祉法人近江ふささと会 障害者支援施設ふささと ○中村 元</p>	<p>社会福祉法人 慈恵会 ゆいの里 ○細川 由香子</p>	<p>子ども食堂(夢の学習料理教室)の身近な地域課題 ～欠食児(保護者)、伝統・郷土料理、食育の推進～ 特定非営利活動法人地域で創る土曜日「夢の学習」 ○黒川 いづみ ○辻久 めぐみ ○中島 意知子</p>	<p>滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 ○川端 豊 ○三宅 訓平</p>

## 【会場案内】



- JR 瀬田駅から  
帝産バス「長寿社会福祉センター行」または「滋賀医大行」  
(所要時間約15分)
- JR 南草津駅から  
近江バス「長寿社会福祉センター行」、または帝産バス「草津養護学校行」  
(所要時間約20分)
- 新名神高速道路草津田上IC から、所要時間約5分

## 滋賀県社会福祉学会事務局

滋賀の縁創造実践センター

滋賀県社会福祉協議会 事業部門

〒525-0072 草津市笠山七丁目8番138号 県立長寿社会福祉センター内

電話：077-567-3924 FAX：077-567-5160

e-mail：shiga-gakkai@shigashakyo.jp